

科目名	看護概論					DP1 DP3 DP5 DP6		看護高等課程	
学年	1 年	分野	専門 基礎看護 看護概論	時間数	35 時間	担当 教員	市川 豊子		
科目 概要	看護概論は、「看護とは何か」という看護の概念を捉え、看護の本質を学ぶ科目である。 看護の基礎概念である「人間・健康・環境・看護」の概念を学習して、保健医療福祉活動における看護実践の基礎となる看護の本質、役割と機能、看護の方法について学ぶ。主要な看護理論では、ヴァージニア・ヘンダーソンとフローレンス・ナイチンゲールの看護の定義をひも解き、「看護とは何か」について考える。また、看護実践の基礎となる理論として、ヘンダーソンの「看護の基本となるもの（14の基本的ニーズ）」を学習し、対象のニーズを捉え、対象理解の方法を学ぶ。更に、看護の変遷を学ぶ中で、看護が発展してきた過程を捉え看護の将来について考えられる内容とした。								
到達 目標	1. 主要な看護理論家の看護概念、看護の定義について理解し、看護とは何かを考えることができる。 2. 看護の対象である人間の特徴について理解し、人間は個性性をもつ生活者であることがわかる。 3. 健康の概念、健康を保持増進、疾病の予防、健康の回復のための施策について知る。 4. 保健医療福祉の場における看護活動の概要や看護の果たす役割を理解する。 5. 災害や国際化の中で、看護の役割について知る。 6. 看護の歴史的変遷から、看護の位置づけとこれからの看護を考えることの大切さを学ぶ。								
回数	単元項目			授業内容			形態	担当教員	
1～17	看護の概念、看護の定義 看護理論			看護とは、看護の捉え方の変遷、看護理論家（ナイチンゲール、ヘンダーソン、ペプロウ、オレム、ロイ等）がとらえた看護の本質、職業団体が定義する看護、看護師・准看護師の役割			講義 演習	市川	
	対象の理解			生活者としての存在、成長・発達する存在、統合体としての存在、患者と看護師の関係、患者心理の理解とその必要性			講義 演習		
	看護理論家たちが考える 看護とは			パフォーマンス課題「看護とは」作成・発表 「理論家の理論を応用して看護を構想する」			演習		
	健康の概念			健康という考え方、健康の定義、健康のレベルとニーズ			講義 演習		
	看護活動			病院における看護活動、地域・在宅における看護活動、災害時の看護活動、国際看護活動			講義		
	看護環境をとりまく環境・システム			看護提供システム、看護体制と看護方式			講義 演習		
	職業と看護			職業と看護職、看護職の役割と看護業務、専門職としての看護師、看護職としての国際協力			講義		
	健康を守る保健医療福祉のしくみと看護			保健医療福祉のしくみ、保健医療福祉の施設の種類と役割、地域における多職種連携、保健医療福祉対策			講義		
	看護の変遷			看護史を学ぶ意味、古代、中世から近代の看護、日本における看護の変遷、現代の看護と課題			講義 演習		
18	試験（1 時間）						試験		
評価 基準	100 点満点とし、6 割以上を合格とする。また、授業時間数の 3 分の 2 以上の出席が必要となる。 筆記試験、出席状況と演習への参加態度、パフォーマンス課題やルーブリック評価に基づき内容等を吟味して総合的に評価を行う。								
評価 方法	出席状況と講義への参加態度、課題レポート、筆記試験などで総合的に評価する。								
教科書	看護学入門 5 基礎看護 I 看護概論 看護の基本となるもの 日本看護協会 必要時、資料等は配布する。								
履修上の 注意点									